熱心な意見交換が。　第20期総会

ゆり北

第215号（20期第2号）
発行・光が丘パークタウン
ゆりの木北自治会
東京都板橋区赤塚新町
3－32－11－511
TEL 03(3977)0228番
発行責任者　塩原継雄

住み良いゆり北に向けて

二十期総会盛況のうちに終了　活発な意見交換も

第二十期ゆり北自治会総会は、四月二十一日(日)、赤塚新町小学校体育館で開催されました。出席者は五十三名、委任状は二九八通でした。

総会は、森秀人さん（六号棟）、マーダニーさん（十三号棟）を議長として滞りなく進みました。全ての報告、議案が異論なく承認、議決されました。また、役員改選では、別表の通り改選され、承認されました。

総会での質疑応答、委任状に寄せられた意見は、次のとおりです。

Q（K・十号棟）
①ゆりの木北自治会の範囲とは
②少子・高齢化社会が、「ゆり北」でも進んでいる。住まい方の考え方のギャップも生じているようだ。学校週五日制となって土曜日の児童の在宅が増える。こどもの育て方やこどもの叱り方など価値観の違いが出てくる。自治会で世代交流させる取組みをしてほしい。
③ペット問題については、最近増えている。「いやだ」という意見がある一方で「うちも飼いたい」「迷惑かけなければ」という意見も聞こえる。このままだと済し崩し的に増えていくのでは。この段階で何らかの手を打たなければ。例えば新しくは飼わない。今飼っている人はクラブを作りルールを自主的に定めてもらうなど。

A
①板橋区や町会連合会では、三十二～三十四番地を、公団の集合住宅という共通点から一団地として、ゆりの木北自治会の範囲として考えている。この範囲の世帯数が各種の助成金や会費の算出基準に使われている。
③この団地では分譲は管理規約で、賃貸住宅では公団の契約条項で『犬・猫などペット飼育禁止』となっている。最近の都市公団の新築団地ではペット共生団地もできているが、施設でのペット対応のハード面と飼育ルールなどのソフト面の両面から対応がなされている。ルール作りだけでは不充分だと思われる。いずれにしても意見の交流が望ましいが、飼育賛成の方からの意見がほとんど無い。そっと飼っているという状況である。

Q（U・十号棟）
会費の銀行振替えの扱い、郵便局も対応できるが

A
東京スター銀行から、経営問題もあり手数料の提起がされた。東京三菱銀行、UFJ銀行などと折衝して、UFJ銀行となった。年一回振替えにした。支払いに口座振込みのケースが多く、現状では郵便局と銀行間の振込みが出来ない。口座が多くなると事務が繁雑になるなどから、郵便局は取扱から除外した。

Q（T・十号棟）
ペット問題では議論されないまま、現状黙認は困る。原則禁止を前提に考えを整理してほしい。

Q（K・十号棟）
杓子定規に禁止では現状にそぐわない。現状に則した解決方法の検討を。

A
分譲では管理組合での論議が必要。賃貸では全国的な課題として公団の判断が必要となる。自治会ではその点は当事者能力はない。広報「ゆり北」で意見の交流をしていく。

Q（M・十号棟）
このごろトラブルで個人攻撃がみられる。相手を思いやる気持ちが欲しい。攻撃され文句も言えない。こういう事例では自治会も気付かない儘になっている。モラルのない人に文句も言えないのでは困る。何らかの対策を講じてほしい。

A
集合郵便受け箱の開いているところを、自治会ポストに使わせていただいている。ここに投書されたものは、内容により無記名でも「ゆり北」の投稿扱いで公開したり、役員会での論議に付されている。記名に拘るものではない。記名があるかどうかは、論議のなかで参酌する。

Q（H・十号棟）
板橋区議会の請願の審議を傍聴しました。傍聴によって各党の反応を知ることができました。各議員さんからはゆりの木北自治会の提起に対して反応が良かったように思います。板橋区と公団の対応に難しいことがある様です。「継続審議」にはなりましたが、今後のプラスになったと思います。赤塚新町光が丘集会所は防災備蓄倉庫の二階で和室、畳の部屋は使いにくいこともあります。バリアフリーになっていないのも問題です。

A
二回の議会審議で、赤塚新町光が丘集会所の問題点や福祉のまちづくりへの区の対応の遅れなどが指摘されました。会食・配食などの高齢者への食事サービスの要望の強さがあり、ボランティアへの意欲も伺われます。この様な点からも集会所の実現に引続き努めます。

Q（S・十号棟）
ごみ問題でいろいろ取組んで来ているが、板橋区では学校もＩＳＯ１４００１を取得したと聞いている。住みやすさの評価としてこれらの経験を地域に還元できないだろうか。

A
評価基準として団地に適応が有るか検討してみる。

あなたのそばにも役員がおります

2002年度　ゆりの木北自治会役員名簿

役職	氏名	住所	電話	部会担当
会長	塩原継雄	11-511	3977-0228	—
副会長	田中奨	1-603	3939-9782	文化
	多田功	4-804	3975-7757	生活環境
事務局長	西澤由美子	14-314	3977-3881	住宅対策
会計	辛島由美子	6-307	3977-2038	生活環境
幹事	上野浩樹	1-503	3977-8946	広報
	高木清美	2-102	5998-1873	文化
	佐藤徳則	3-107	3976-4724	生活環境
	杉本敏夫	5-907	3975-2346	文化
	宮澤京子	5-1003	3975-2361	文化
	森秀人	6-304	3939-5957	住宅対策
	加藤裕士	7-302	3976-3982	福祉
	安倍敏陽	8-501	3939-8931	防犯防災
	川島昇三	9-201	5997-7516	防犯防災
	町田雅美	10-307	3930-1349	防犯防災
	滝口秀範	10-310	3977-2274	生活環境
	植竹徹	10-406	3977-0571	防犯防災
	マーダニー雪代	13-409	3979-1128	広報
	本部六朗	14-203	3976-6246	住宅対策
会計監査	石橋和代	1-212	3979-6286	福祉
	林治久	4-1002	3977-2195	福祉

新会長に塩原さん
（11号棟）

兼好法師の随筆集徒然草第二十二段には「何事も古き世のみぞしたわしき。今様はむげにいやしくこそなりゆくめれ」と書かれています。現代語訳すれば「何事も昔は良かった。現代は、むやみに下品になってゆく」となりましょうか。毎日のニュースなど見聞きすると国の内外や老若男女を問わず悪い話題ばかりで世の中は、ますます下品になっていく様です。こんな不安な時代だからこそみんなで手をつないで「安全なまちづくり」「楽しくまちづくり」「きれいなまちづくり」「住み続けられるまちづくり」に取り組みましょう。ゆり北在住の皆様のご協力をお願いいします。

会　長　塩原　継雄

塩原新会長

助けあえる街、ゆり北を！

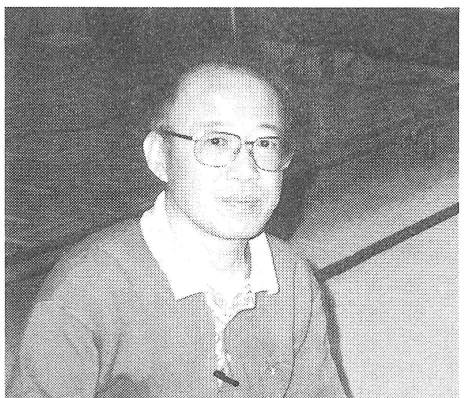
吉柳前会長からの提言

ゆり北も二十年目を迎えました。いよいよ長い間の懸案であった、三十三番地(中学校予定地）の都市計画変更の見通しがつきました。老人保健施設と公団中層住宅の建設でまとまる方向です。今まで二十年放置されて来たものが半年あまりで決着されようとしていることに、違和感もありますが、老健は高齢化社会のなかで身近にあって良い施設であると考えました。また、公団中層住宅についても、都市公団の改組の渦のなかで公共住宅として建設させることは意義があります。公団が土地を手放し採算優先の民間住宅が建つことを考えれば、次善の策とも云えましょうか。

ゆり北自治会としての課題は、最近やや減り気味の自治会員の加入促進があります。公団やマンションを選択する理由のうちに「鍵一つでプライバシーが守られる」ことが挙げられます。しかし、考えてみれば団地は現代長屋、縦長屋です。人との関わりなしには生活できません。騒音を始めとする近隣紛争やペット飼育、ゴミ出しなどルール違反やマナーの問題も少なくありません。それを予防したり、早期解決するためには、コミュニティの醸成が必要であり、自治会加入のメリットです。もう一つの課題が、高齢化も控えて「助け合い」のネットワークづくりです。独りぐらしの方、高齢者だけの世帯も増えて来ました。自治会が直接携わらなくても良いと思いますが、ネットワークづくりの橋わたしは果たすべきでしょう。

課題を掲げておいて、退任することは、ちょっぴり後ろ暗い気もありますが、自治会創設以来十九期の任期を期に会長を辞させていただきました。これまでのご協力、ご指導に厚くお礼申しあげます。

今後は、ゆり北を我が家の第二世代に譲り、憧れの田舎暮らしをする予定です。我がままをお許し下さい。



長い間ありがとうございました。吉柳さん

三十三番地（中学校予定地）の行方は？

三十三番地（中学校予定地）の行方を決める「一団地計画の変更に関する地元説明会」が、五月十四日(火)に、昼・夜の二回行われました。出席者は合わせて一〇〇名でした。

全戸に配布された資料にもとづき、板橋区・都市公団・慈誠会がそれぞれ説明しました。

公団説明で、賃貸住宅は一三〇戸、2ＬＤＫのファミリータイプを中心に、バリアフリーを設計に採り入れ、ループリビングの計画も検討しています。健常な高齢者を対象としたグループ居住者用集会場も八〇㎡（洋室一室）予定していることがあきらかにされました。着工は年内。

老健施設では、個室中心で一四七床。ディサービスは予定しない。着工は年内、完成は平成一六年秋となることが説明されました。

二回の説明会の質問の中心は、二十年余も放置しておきながら、住民の意見も聞かず、一方的に案をつくり、三ヶ月あまりの短期間で都市計画審議会の審議日程を組んでいることについて、疑問と怒りの発言が相次ぎました。また、中学校は不要となったという板橋区の説明に対して、最近の赤塚一中、三中の生徒数の増加を指摘して、不安を訴える意見もありました。

昼の説明会では、板橋区の集会場の設置について強い要望が出されましたが、企画調整課長は、赤塚新町・光が丘集会場があり半径５００ｍの区の整備方針により作らないと言い続けました。一方、現集会場が福祉のまちづくりに適合しない建築物であることを認めながらも、改修計画も示すことは出来ませんでした。

夜の説明会では、十四号棟の日照や駐車場についての質問が多く出されました。冬至の日の日照が午前九時まであたらないことから改善の要望が強く出されました。十四号棟は南北軸の建物で西側は通路となっており、採光、日照は今までも冬至の日は午前中の四時間程度でしたが、新しい賃貸住宅により二時間に半減されることから、改めて公団側から、壁面日照図を示し再説明を行うことになりました。

都市計画の変更手続きが終了しないのに、都市公団が土地の造成のための土木工事（樹木の移植を含む）に六月から着手することについても反発の意見が強く出されました。

自治会では、これまでの経過を踏まえつつ、住民の意見を計画や工事に反映させる様に取り組みます。

そのときあなたは…？

四月二十七日、ゆり北団地等で約六万戸に停電が発生しました。雷雨もない晴天の午後七時頃、家族揃って食卓を囲んでいたり、或いは買物や夕食の仕度に忙しいそのときに、三十分近くも停電して、あなたは不安になりませんでしたか。

自治会では、会長自ら東京電力に原因究明と再発防止を強く申し入れました。（原因及び東電のお詫びは各棟の掲示板に掲載）

十一号棟ではエレベーターに人が閉じ込められ、居合わせた人達の協力で救出に務めました。そのとき、あなたはどうでしたか。ろうそくや懐中電燈は用意出来ましたか。電気釜が途中で止まりませんでしたか。何か大変困ったこと、或いは大きな問題はありませんでしたか。震災のときも同じです。もう一度、我が家の備えを見直してみませんか。

BSアンテナ設置工事のお知らせ

賃貸棟で衛星放送受信用アンテナの設置工事が始まります。この工事施工について、五月十三日に、工事関係者から説明がありました。

この工事は賃貸棟（一号棟、十一〜十四号棟）に設置されているテレビ共同受信設備に衛星放送アンテナを増設することにより、室内のテレビ端子から直接ＢＳ放送を受信可能とするものです。各棟最上階の通路側ひさし部分に配管を設ける等、多少の騒音が生じる工事やアンテナ設置後、受信画像の検査が含まれています。これらの工事は七月十九日まで、平日の午前九時から午後五時まで行われます。状況によって土曜日に作業を行うこともあるそうです。作業員は、名札、腕章を着用しています。工事の詳細については、対象となる号棟に掲示されます。皆様方のご理解をお願いいします。

委任状の声
（一面続き）

◇役員の皆様、いつもの事乍らご苦労さまでございます。益々の会の発展を祈ります。（同趣旨十一通）

◇加入率の向上策を考えないと活動が先細りとなることを心配しています。

◇駐輪場所を守りましょう。雨の日など、「よしや」入口付近通路や住民の出入口をふさいでいます。他人のことも考えて下さい。

平成十四年度自治会費納入についてお願いします。七月一日に、一年分三、六〇〇円を銀行預金口座から引き落としますので、残高をご確認ください。なお、集金は七月に行います。

連載第１回　トモちゃん空襲だよ

作・中村友久（十三号棟）

昭和二十年三月十日（いまから五十六年前）のことです。学徒動員でＮＥＣ三田工場の旋盤工として働いていたトモちゃん（私）は、江東区深川の千田町の市電停留場で通勤電車を降りて、電灯を笠の上から黒っぽい風呂敷でおおい、家の灯りを外にださないようにしているため、いっそう暗くなっている街の中を歩いて家路に向かいました。玄関のドアをあけ、「ただいま」と中に入りました。玄関は畳一帖、深さ一メートルくらいの防空壕になっています。

壕のなかには、父、母、姉のミヨコ、ミチコ、妹のヨシコ、弟のタダシが坐っていました。

私は玄関から一段上がったところにある六帖の部屋に座って、サツマイモをほおばり、茶を飲みながらゲートルを巻きなおしていました。

するとウーウーとサイレンが鳴り、ラヂオで「東部軍管区情報、空襲警報発令、敵Ｂ二九は東京湾より帝都に進入しつつあり、警戒を要す」と放送がありました。家の中にも飛行機の爆音が「ブルンブルン」と響きます。するとミチコが「トモちゃん空襲だよ、早く防空壕にはいりな」と怒鳴りました。

家の前の道路の向こうから群衆のかけ出す足音が聞こえてきました。私は急いで玄関のドアをあけてみました。なんと近所の人々が群がって街の中を走っています。私は空を見上げました。街にたつ電柱の上を、火災の炎で真っ赤に翼をほてらし、かすめるようにＢ二九が飛んでいました。